

平成 28 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社青山財産ネットワークス
 代 表 者 代表取締役社長 蓮見 正純
 (コード番号 8929 東証第二部)
 問合せ先 取締役執行役員管理本部長 水島 慶和
 (TEL 03-6439-5800)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 2 日に公表した平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の通期業績予想および平成 28 年 5 月 11 日に公表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,800	570	540	450	38.23
今回修正予想(B)	14,800	700	570	550	46.70
増減額(B-A)	0	130	30	100	
増減率(%)	0.0	22.8	5.6	22.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	14,275	485	471	518	44.21

(2)平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	350	330	28.03
今回修正予想(B)	12,000	360	400	33.96
増減額(B-A)	0	10	70	
増減率(%)	0.0	2.9	21.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	10,977	395	480	40.96

(注)今回修正予想の1株当たり当期純利益については、第2四半期の期中平均株式数 11,778,111 株に基づいて算出しております。

(3)修正の理由

(連結)

連結業績予想における売上高につきましては、売上高の構成は若干変化するものの、財産コンサルティング収益が堅調に推移し、不動産取引収益につきましても「ADVANTAGE CLUB」および販売用不動産の売却等により、売上高は当初予想どおりとなる見込みです。

営業利益の増加要因につきましては、事業承継コンサルティングによる収益が好調に推移していること、土地持ち資産家に対する財産コンサルティングについては前年に引き続き堅調に推移していること、および、「特別目的会社を活用した不動産特定共同事業」の第一号案件として石川県小松市と取組みを始めるなど、新商品・新事業の売上げが営業利益に寄与し始めたこと、等が主な要因であります。

経常利益につきましては、今年度の新たな取り組みに係る資金調達コストが増加し、当初予想より微増に留まる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、来期の利益も好調に推移すると見込まれることから、繰延税金資産を積み増したため、法人税等調整額が減少し、当初予想を上回る見込みとなりました。

(個別)

連結業績予想数値修正の理由と同様であります。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 平成28年5月11日発表	—	—	—	12.00	20.00
今回修正予想	—	—	—	14.00	22.00
当期実績	—	8.00			
前期実績 (平成27年12月期)	—	5.00	—	13.00	18.00

(2) 修正の理由

当社の配当政策は、中期経営計画にて発表させて頂きましたとおり、安定的・継続的に配当性向50%を実現していくことを目標と考えておりますが、企業価値向上のための重点分野または成長分野への投資、内部留保による財務体質強化も合わせて行っていく必要があることから、それらの要素も勘案して、総合的に配当額を決定しております。

期末配当予想につきましては、今回の業績予想の修正に伴い、平成28年5月11日に公表しておりました当初見通しの1株当たり12円から2円増額し、1株当たり14円といたします。

これにより、1株当たりの年間配当金は従来予想の20円から22円となります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上